

2017年4月15日発行

K



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa
Physical therapy Association
News

P

4 2017
April
No.271

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 林 克郎 ○編集 | 今井 祐子

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[29.3.1現在]

4,908名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶新人教育プログラム P8▶活動報告 P9▶会員ライフサポート部活動報告59報
P10▶総会告示 P11▶会長行動報告 P12▶研修会・講習会 P15▶information P16▶編集後記/原稿送付先

巻頭言



第34回学会を終えて

第34回神奈川県理学療法士学会 学会長
横須賀共済病院 渡部 政司

3月12日に第34回神奈川県理学療法士学会が開催されました。今回学会長を務めさせて頂き、無事終了できたことは林会長はじめ神奈川県理学療法士会役員の皆様、担当理事、学術大会部、準備委員会の皆様、参加頂いた県士会会員の皆様のご理解とご協力があったのことでと思います。特に学術大会部、準備委員会の皆さんには開催日前夜まで様々な調整・対応を頂きました。どうもありがとうございました。

今回の学会では演題発表を中心にシンプルな学会運営を行いました。経験年数の浅い理学療法士の皆さんに、分業が進む中で様々な場面についての情報共有の場として頂けるようにしたいと企画させて頂きました。地域症例リレーについても同様に、分業が進む中でどのような情報共有が有効なのかを考えて頂く機会になればと思い企画させて頂いたものです。参加された皆さんはどのように感じられたでしょうか？公開講座で講演頂いた中野先生にはご自身が取り組んでおられる地域との関わりについてご紹介を頂き、県内各ブロックが取り組んでいる地域包括ケアの対応について何かヒントを頂けたのではないかと感じています。研究支援部の皆さんには講演と研究相談ブースを設置させて頂きました。県士会活動報告では、この学会を開催する神奈川県理学療法士会の取り組み、今後理学療法士が活躍していく場を作り出すことを、理学療法士自らが取り組んでいく必要性について示させて頂けたと思います。そして学会終了後の事業意見交換会には山口和之参議院議員に参加を頂き、県士会にご協力を頂いている賛助会員の皆さんと交流頂きました。シンプルな中にも中身の濃い学会が開催できたのではないかと感じています。

今回学会運営をさせて頂いて強く感じたことは、人と人とのつながりが大事だということと、人を理解することがとても重要だということでした。思えば12年前に横須賀三浦ブロックで学会を担当させて頂いた際には準備

委員長をさせて頂きました。この回のテーマは理学療法の多面性でした。様々な面があるということについて講演を頂いた記憶があります。この面は何から生まれて来るのでしょうか？関わる方の立場、方向性から生まれるもので、一つの事柄には異なる面をもっていると理解していましたが、何か釈然としないままでした。今回の学会は副題を「生命・生活・人生」とさせて頂いていました。理学療法士が関わる目的だったり、場であったり、意義について考えるテーマとなっていたと思います。このテーマは準備委員会でのディスカッションの中から生まれたものですが、もう一つ検討されたものがありました。それは「視点・視野・視座」というもので、私は岩崎由純さんというトレーナーの方が講演の中で述べられていたのを聞いてから考えるようになった言葉です。一つの事柄(視点)をどういう方向で見る(視野)か、どんな立場(視座)で…。昔流行った歌の一節に「私にはスタートだったの、あなたにはゴールでも…」という部分があります。二人の持つ同じ事柄でも「私」と「あなた」との視座の間には大きな隔たりが生じてしまうことをよく表していると思います。そう考えると一つの事柄には多くの面を含んでいることが理解できるのではないのでしょうか。この考え方は多くの人が関わり、何かをまとめて行く、調整するようになるととても役立つ考え方だと思います。地域包括ケアシステムへの対応としての多職種連携や、現場で患者さんや家族のことを理解するための他職種の方々との連携を進める上でも役立つ考え方だと思いますので、是非若い年代の皆さんに参考にして頂ければと思います。

最後になりますが、学会の運営に際して行き届かないことやご迷惑をお掛けしたこともあったかと思えます。この場をお借りしてお詫び申し上げますとともに、これからも神奈川県理学療法士学会への積極的な参加、応援を頂きますようお願い致します。

新人教育プログラム

平成29年度新人教育プログラムに関するお知らせ

新人教育部 生涯学習部データ管理係

新人教育プログラムは、協会入会后、会員への教育・学習環境の整備を目的として導入された制度です。平成24年度より新システムとなりましたので、日本理学療法士協会（以下、協会）および神奈川県理学療法士会（以下、本会）での新人教育プログラム修了までの流れおよび手続きについてお知らせいたします。

I. 新人教育プログラム修了までの流れ（図）

新人教育プログラムは、計15単位を1年以上かけて履修することで修了となります。

履修単位は協会が一元管理します。

「認定・専門理学療法士」を受験するためには、新人教育プログラムを修了して専門分野（旧 専門領域研究部会）登録後2年（認定理学療法士）または5年（専門理学療法士）の期間が必要です。

1. 「マイページ」による履修状況の確認について

新人教育プログラムを履修中の方は、必ず協会ホームページ内 会員専用サイト「マイページ」で自分の履修状況を確認し、取得している単位と不足している単位を確認して受講してください。

2. 新人教育プログラムの修了申請について

「マイページ」内で修了済みになった方は、「マイページ」内で修了申請をしてください。“仮修了”となりますので、続けて専門分野への登録をすることで“修了”となります。修了すると「新人教育プログラム修了証」が協会事務局より送付されます。

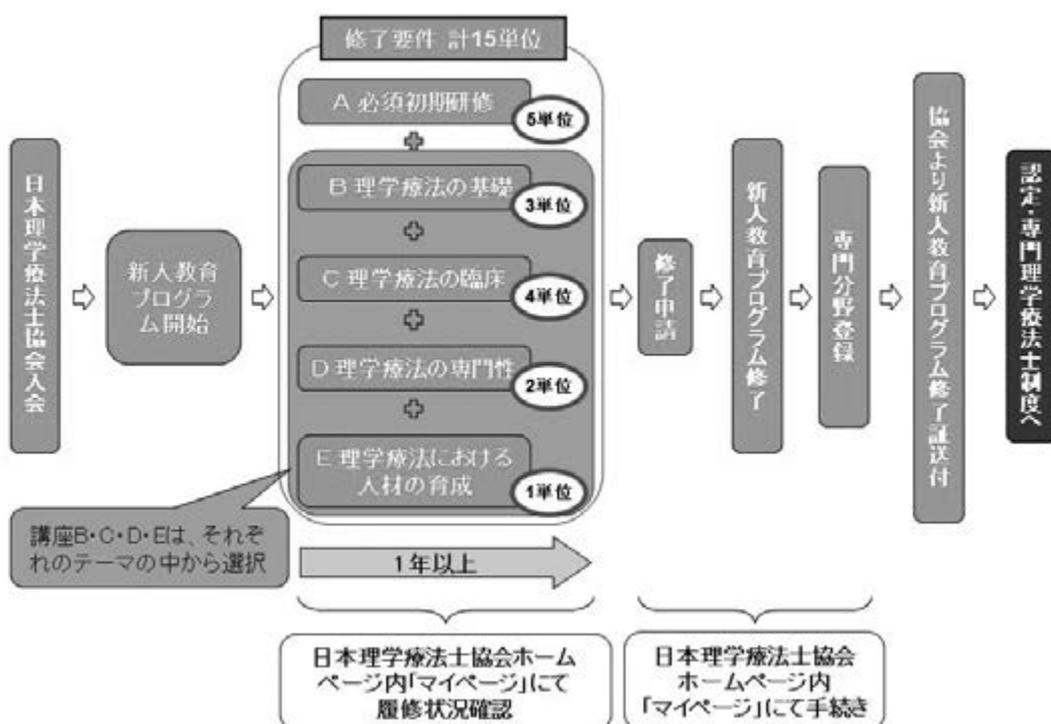
II. 新人教育プログラムの単位取得

1. 単位について

新人教育プログラムの修了要件は15単位の履修が必要です。

（※理学療法養成機関で学士及び高度専門士を取得した会員においては、「B-3統計方法論」および「B-4症例報告・発表の仕方」の2単位が免除され13単位です。間違って受講の申し込みをして当日キャンセル

図) 新人教育プログラム修了までの流れ





する方が多いので、必ず「マイページ」の履修状況を確認してください。）

15単位は、必須5単位、選択10単位で構成され、新人教育プログラム対象者は、必須5単位である「必須初期研修」(A-1～5)の受講が義務づけられています。

選択10単位の内訳は、理学療法の基礎 (B-1～4) は4テーマの中から3単位、理学療法の臨床 (C-1～7) は7テーマの中から4単位、理学療法の専門性 (D-1～3) は3テーマの中から2単位、理学療法における人材の育成 (E-1～3) は3テーマの中から1単位を取得することになります。

なお、重複したテーマを受講しても他の単位への振り替えや追加単位としては認められません。

2. 受講研修会について

今年度の予定は、本会ニュース4月号「平成29年度神奈川県理学療法士会 新人教育プログラム学術講習会・研修会予定」をご覧ください。最新の情報は本会ホームページに提示されます。また理学療法士講習会や他都道府県士会で企画される新人教育プログラム研修会でも履修可能です。協会ホームページ内「講習会・研修会情報」をご参照ください。

3. 申し込みについて

受講希望者は、協会ホームページの「マイページ」または本会ホームページの「申し込み方法」に従って事前登録をしてください。受付が締め切られると受講予定者データを作成する関係上、以後の申し込みや当日受付は一切できません。Web受付にて事前登録がされると受付完了の返信メールが届きます。研修会当日は、返信メールの内容を印刷するか画面で確認できるものをご持参ください。

ここ数年は会員数の増加のため多くの申し込みがありますが、会場の収容人数を超えた申し込みについてはお断りしております。より多くの方が受講できるように、自分の取得単位をよく確認し研修会当日のキャンセルがないようにしてください。

4. 協会会員証による入退室管理について

協会会員証は、受付処理および受講確認のために必要ですので必ずお持ちください。受講開始時と終了時に使用します。

5. 単位認定について

研修会や講習会の受付されたデータを協会へ送信する事で、単位が付与されます。受付において受講開始時と終了時の2回協会会員証をかざすことで登録が完了します。ただし、どちらか確認できない場合は登録ができない可能性がありますのでご注意ください。なお「マイページ」には、研修会の終了後6～8週間ほどで反映されます。

①「C-6 症例発表」の単位認定

協会や本会主催の学会での発表は、理学療法の臨床「C-6 症例発表」：3単位が取得できません（申請の必要はありません）。また新人教育部主催の新人症例報告会（第3回新人教育プログラム研修会内で開催予定）で発表された場合のみ、上記の3単位に加えて「C-7 士会活動・社会貢献」の1単位が併せて付与され、計4単位の取得が可能となります。

その他、関連学会での発表、学術誌発表については、県士会ホームページ内『理学療法士の皆様へ』⇒『生涯学習』⇒『単位・修了認定書について』⇒『新人教育プログラム「C-6 症例発表」申請、認定要件』に従って申請してください。協会・各都道府県士会主催の研修会について

協会ホームページ内の『会員の方へ』⇒『講習会・研修会情報』⇒『セミナー・講習情報閲覧画面』（<http://www.japanpt.or.jp/members/lifelonglearning/seminer/browse/>）の詳細情報にて新人教育プログラム対応かを確認して申し込みをしてください。

②e-ラーニングの新人教育プログラムについて

e-ラーニングとは、パソコンやインターネットなどのIT技術を活用した新しい教育システムです。平成26年度より協会によるe-ラーニングが一部開始されました。受講については上記「②協会・各都道府県司会主催の研修会について」に従って申し込みをしてください。

●お問い合わせ

新人教育部部長 木村充広（横須賀共済病院）
総務部データ管理係 田中健康
（神奈川県リハビリテーション病院）
E-mail：data2@pt-kanagawa.or.jp

新人教育プログラム

平成29年度神奈川県理学療法士会 新人教育プログラム

講座名	テーマ ※1	必須選択		修了要件 (単位数)※7	
		必須	選択		
必須初期研修 ※2	A-1 理学療法と倫理	1		1	①
	A-2 協会組織と生涯学習システム	1		1	①
	A-3 リスクマネジメント (安全管理と感染予防含む)	1		1	①
	A-4 人間関係および接遇 (労働衛生含む)	1		1	①
	A-5 理学療法における関連法規 (労働法含む)	1		1	①
理学療法の基礎 ※3	B-1 一次救命処置と基本処置		1	3	②
	B-2 クリニカルリーズニング		1		②
	B-3 統計方法論※4		1		③
	B-4 症例報告・発表の仕方※4		1	③	
理学療法の臨床 ※3	C-1 神経系疾患の理学療法		1	4 ※8	②, ⑤, ⑧
	C-2 運動器疾患の理学療法		1		①, ⑥
	C-3 内部障害の理学療法		1		③, ⑦
	C-4 高齢者の理学療法		1		
	C-5 地域リハビリテーション (生活環境支援含む)		1		⑨
	C-6 症例発表 ※5		3		③(発表者)
	C-7 士会活動・社会貢献 ※6		1		③
理学療法の専門性 ※3	D-1 社会の中の理学療法		1	2	
	D-2 生涯学習と理学療法の専門領域		1		②
	D-3 理学療法の研究方法論 (EBPT 含む)		1		③
理学療法における 人材の育成 ※3	E-1 臨床実習指導方法論		1	1	④
	E-2 コーチングとティーチング (コミュニケーションスキル含む)		1		②
	E-3 国際社会と理学療法		1		
計				15 ※9	

- ※1：新人教育プログラムテーマ一覧（上表）は、新人教育プログラムにおけるテーマと修了に必要な単位数の関係を表します。
- ※2：「必須初期研修」（A-1～5）の5単位は必修です。
- ※3：選択10単位は、「理学療法の基礎」（B-1～4）：選択3単位、「理学療法の臨床」（C-1～7）：選択4単位、「理学療法の専門性」（D-1～3）：選択2単位。
- ※4：理学療法養成校において、学士または高度専門士取得者は免除（平成24年度入会者より該当）され取得済みとなっています。協会ホームページ
- ※5：PT協会または各都道府県士会主催学会での学術発表・論文発表で取得されます。他関連学会等での発表は県士会ホームページ内「生涯学習システム」
- ※6：各都道府県理学療法士会が認定した活動への参加。県士会ホームページやニュースでご確認ください。
- ※7：重複した履修ポイント基準（テーマ）を受講しても振り替えや追加単位としては認められません。
- ※8：理学療法の臨床（C-1～5）は、下記の講習会・研修会で履修可能です。詳細は県士会ホームページやニュースでご確認ください
- ※9：新人教育プログラムの修了要件は、必須5単位と選択10単位の合計15単位の履修になります。協会入会1年目でも修了可能です。

選択研修（理学療法の臨床（C-1～5,7））に該当する講習会・研

講習会名	日時	テーマ
⑤ 神経理学療法領域講習会 (C-1)	9月2日(土)	調整中
	11月25日(土)	
⑥ 運動器理学療法領域講習会 (C-2)	5月28日(日)	股関節疾患の理学療法 ～変形性股関節症の形態評価・運動療法と大腿骨頸部骨折の背景を理解する～
	10月1日(日)	
⑦ 内部障害理学療法領域講習会 (C-3)	6月24日(土)	心血管疾患のリハビリテーション ～基本的な知識の整理から最新のトピックスまで～
	10月7日(土)	
⑦ 発達障害理学療法領域講習会 (C-1)	9月16日(土)	調整中
	12月10日(日)	
⑨ 基礎理学療法領域講習会 (C-5)	6月10日(土)	姿勢・運動制御の基礎
	11月11日(土)	

- ※上記講習会⑤～⑨は、新人教育プログラムテーマ一覧（左上表）の⑤～⑨に当てはまります。
- ※その他：理学療法士講習会（基礎編）、学術大会・ブロックPT学会・都道府県士会主催研修会・講習会、都道府県理学療法士学会における新人教育
- ※詳細および最新情報は、日本理学療法士協会ホームページ、日本理学療法士協会（JPTA）ニュース、神奈川県理学療法士会ホームページ、神奈川県



学術講習会・研修会予定

(新人教育部・生涯学習部・臨床実習教育部)

研修会名 (該当するテーマ)	開催日	会場
①第1回新人教育プログラム研修会 (A-1～5,C-2)	7月9日(日)	神奈川県立 保健福祉大学 講堂
②第2回新人教育プログラム研修会 (B-1～2,C-1,D-2,E-2)	10月1日(日)	調整中
③第3回新人教育プログラム研修会 (B-4,C-3,C-6(発表者),C-7,D-3)	12月3日(日)	神奈川県立 保健福祉大学 講堂
④臨床実習教育研修会 (E-1)	平成30年 2月17日(土)	ユニコムプラザさがみはら

※上記研修会①～④は、新人教育プログラムテーマ一覧(左表)の①～④に当てはまります。

択2単位、「理学療法における人材の育成」(E-1～3)：選択1単位です。
内 会員専用サイト「マイページ」にてご確認ください。
テム)申請・認定要件に従って申請してください。

い。
ミナー講習会情報閲覧」でご確認ください。

修会

講師名	所属	会場
溝部 朋文 先生	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	神奈川県立保健福祉大学 横浜ビジネスパーク
永井 聡 先生	広瀬整形外科リウマチ科	平塚商工会議所 横浜リハビリテーション専門学校
神谷 健太郎 先生	北里大学 医療衛生学部	ハウスクエア横浜 神奈川県立保健福祉大学
萩原 聡 先生	横浜市東部地域療育センター	調整中 調整中
渡邊 観世子 先生	国際医療福祉大学	神奈川県立保健福祉大学 調整中

プログラム。e-ラーニングによる新人教育プログラム。
理学療法士会ニュース等でご確認ください。

新人教育プログラム

平成29年度 第1回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 学術局 新人教育部

この度は、平成29年度 第1回新人教育プログラム研修会の詳細につきましてお知らせいたします。

1. **開催日**：平成29年7月9日（日）
受付開始時間 9：00～（予定）
2. **開催地**：神奈川県立保健福祉大学 講堂
3. **交通**：京浜急行「県立大学駅」下車 徒歩8分
（案内図参照）。
4. **受講費**：本会会員 1,000円
（受講単位数に関わらず一律1,000円）
他士会会員 4,000円
（受講単位数に関わらず一律4,000円）

5. 内容：新人教育プログラム研修会

予定時間	研修会テーマ	取得単位
9：30-10：30	C-1 神経系疾患の理学療法	1
10：35-11：35	A-1 理学療法と倫理	1
11：40-12：40	A-2 協会組織と協会学習システム	1
昼食		
13：30-14：30	A-3 リスクマネジメント （安全管理と感染予防含む）	1
14：35-15：35	A-4 人間関係および接遇 （労働衛生含む）	1
15：40-16：40	A-5 理学療法における関連法規 （労働法含む）	1

6. **申込方法**：事前Web登録方式です。申込期間内に日本理学療法士協会「マイページ」から事前Web登録を行ってください。

登録は研修会テーマごとの受講登録が必要になります。**個々のテーマは独立した研修会です**ので各々の登録が必要になります。

受講登録後の自動返信メールをお手元に保管し、受講受付の際に確認できるようにご準備ください。

自動返信メールが届かない場合は、下記の問い合わせ先までご一報くださいますようお願いいたします。

新人教育プログラム研修会では、受付の際に登録の完了が確認できなければ受講をお断りしております。

7. 申請テーマのキャンセル：

事前登録で申請したテーマ以外への変更および当日キャンセルはできかねますのでご承知おきください。

やむを得ずキャンセルしなければならない場合は、**研修日以前は本会事務局（office@pt-kanagawa.or.jp）へ、研修会当日は専用PHS：#070-5020-9036まで必ずご連絡ください。**

8. **講義資料**：日本理学療法士協会HPの「マイページ」より各々の受講テーマをダウンロードしご持参下さい。会場での用意はございません。

9. 定員：400名（先着順）

10. 申し込み期間：

申込開始日：平成29年6月5日（月）正午～

申込終了日：平成29年7月3日（月）

※事前登録期間内に定員に達した場合には登録を締め切らせていただきます。日程に余裕をもった登録をお願いいたします。

注）会場等の都合により当日のスケジュールが変更となる場合があります。本会HPにて最新の情報をご確認ください。

注）カードリーダーによる受講受付となります。必ず「日本理学療法士協会会員証」をご持参下さい。

注）研修終了時に**改めて終了受付があります**。終了受付を済ませずに帰宅すると、**単位認定できない場合があります**ので注意してください。

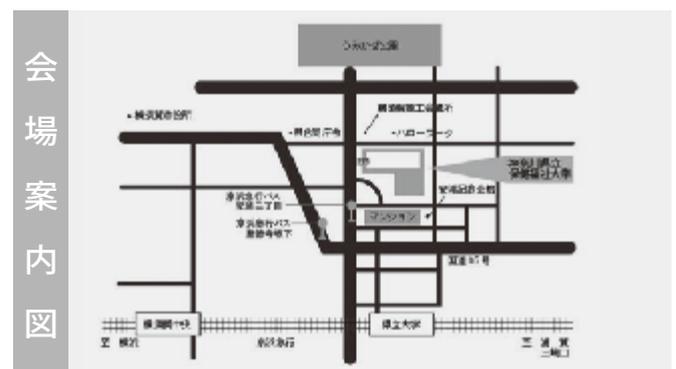
問合せ先：横須賀共済病院 リハビリテーション科

E-mail：reha-ykh@ykh.gr.jp

新人教育部 部長：木村 充広

公益社団法人神奈川県理学療法士会 事務局

E-Mail：office@pt-kanagawa.or.jp





平成29年度 新人教育プログラム研修会予定

平成29年度の新人教育プログラム研修会を以下の予定で開催いたします。申し込みはすべて協会マイページからの事前受付となります。各研修会の詳細は本会HPまたはニュースにてご確認ください。

開催日時:第1回2017年 7月9日(日) 9:30~16:40
 第2回2017年10月1日(日) 10:00~16:05
 第3回2017年12月3日(日) 10:00~16:05

第1回研修会：神奈川県立保健福祉大学

- C-1 神経系疾患の理学療法
- A-1 理学療法と倫理
- A-2 協会組織と生涯学習システム
- A-3 リスクマネジメント（安全管理と感染予防含む）
- A-4 人間関係および接遇（労働衛生含む）
- A-5 理学療法における関連法規（労働法含む）

第2回研修会：開催場所 未定

- C-2 運動器疾患の理学療法
- B-1 一次救命処置と基本処置
- B-2 クリニカルリーディング
- D-2 生涯学習と理学療法の専門領域
- E-2 コーチングとティーチング
（コミュニケーションスキル含む）

第3回研修会：神奈川県立保健福祉大学

- B-4 症例報告・発表の仕方（高度専門士免除）
- D-3 理学療法の研究方法論（EBPT含む）
- C-6・7 症例発表 士会活動・社会貢献
（新人症例報告会）
- C-6・7 症例発表 士会活動・社会貢献
（新人症例報告会）
- C-3 内部障害の理学療法

※新人教育プログラム研修会は一部を除きe-ラーニングでの受講も可能です。詳細は協会HPでご確認ください。

新人症例報告会での発表を終えて

本会新人教育部では昨年度より1～3年目の会員を対象とした「新人症例報告会」を研修会の中で開催しております。盛況に終わった昨年度の報告会では、聴取側もほぼ同世代というリラックスした環境の中、それぞれ対象者への関わりについて活発な意見交換がなされました。本号では、初めて発表に臨まれたお二人に自らの経験を述べていただきました。

山口整形外科 リハビリテーション科 理学療法士 梅澤 拓也

今回、新人症例報告会での発表に至った経緯や感想について県士会から投稿依頼を頂き、自身にとってはこれも「一つの経験」ということで書かせて頂きました。

初めて院外での発表をすることに至った経緯として、今後より大きな場での発表をすることに慣れるために症例を出そうと思いました。大勢の知らない方の前で、また時間が決まっている中で発表をすることの経験があまりなかったため、自身の考えを他者に伝えるということがとても大変なことであることを改めて痛感しました。

発表までは当たり前のことですが、「人に伝えるもの」ということに重きを置いて、自身の言葉を聞いてもらい、作製したスライドを見もらうことで患者様の状態、自身の考えや思ったことを十分に伝えられるかという点に対して特に注意しながら準備を行ってきました。

内容としてはまだまだ反省することが多く、至らなかった点が多かったかと思いますが、自身の成長としてとても充実した期間だったと自負しております。

今回はこのような機会を提供して頂き、ありがとうございました。

麻生総合病院 リハビリテーション科 理学療法士 武藤 千晴

今回、私は職場の先輩に勧められたことがきっかけで新人症例報告会に参加しました。先輩と今回の症例について議論した際、症例を通して学べた事が不明確で、予後予測も甘く、問題点に対してのアプローチも具体的でないことに気付きました。公の場で発表することでより多くのことに気づき、正誤性の確認や資料作成・発表経験等良い機会になるのではと背中を押して頂き発表を決めました。

エントリー後は資料作成を通し病態理解は深く行えましたが、筋が通らない点もあり改めて気づくことが多々ありました。ですが今回の問題点への具体的な対策は分からないうままでした。その為新人症例報告会で報告と同時にアドバイスを頂けないかと思いました。

発表前に座長へ問題点に対してのアドバイスを頂きたいと伝えました。発表中は緊張し頭は真っ白で質疑応答では更に緊張するかと思いましたが、座長や県士会の方々の計らいもあり場内の雰囲気は和やかで議論し易くアドバイスも頂きました。

先輩に背中を押して頂き参加しましたが、発表はとても刺激的で良い経験になりました。次回このような機会を頂ければ、更に内容を充実させ気持ちに余裕を持ち発表に取り組みたいと考えるようになりました。また今回の症例報告会を通し以前から関心があった呼吸器について深く学びたいと思うようになりました。認定理学療法士（呼吸）の資格習得を目標に頑張りたいと思います。

活動報告

(公社) 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 平成28年度 災害対策キャラバンが開催されました。

神奈川県理学療法士会災害対策委員会 松田 梓

去る平成29年1月26日(木)神奈川県立保健福祉大学にて「横須賀三浦ブロック災害対策キャラバン」、2月19日(日)には済生会横浜市東部病院におきまして「横浜北部ブロック災害対策キャラバン」が開催されました。

災害対策キャラバンでは毎年、災害リハビリテーション支援ネットワークを構築していくことを目的に開催しており、第6回目として横須賀・三浦ブロック、第7回目として横浜北部ブロックの方を対象に開催いたしました。

《横須賀三浦ブロック》

「横須賀・三浦ブロックの災害時における行政の支援体制とリハビリテーションとの連携について」をテーマに、講師に横須賀市より河島 夏美氏(横須賀市福祉部高齢福祉課課長補佐)、村松 健二氏(横須賀市市民安全部危機管理課課長補佐)、菅原 健介氏(株式会社ぐるんどび一駒寄)を迎え、横須賀市における災害時の危機管理体制や医療支援体制など災害時を想定した平時からの取り組みや連携についてお話しいただきました。



河島氏からは、東日本大震災(岩手県宮古市)の支援経験を保健師の視点から避難所における生活支援、食事管理や感染予防、応急仮設住宅の戸別訪問といった地域保健活動について具体的にお話しいただきました。村松氏からは、「災害時の対応を考える」という内容で、横須賀市で想定される自然災害から必要とされる備蓄品、生活物資・飲料水の確保、避難所の運営について、自助・互助・公助の基本的な考え方についてお話しいただきました。菅原氏からは、東日本大震災における現地コーディネーターとしての経験や支援経験から現在展開している地域支援事業についてお話しいただきました。またエンターテインメント性の高い防災活動や審美性を盛り込んだ新たな災害対策についてもお話しいただきました。

50名と多くの方々にご参加いただきました。また積極的なご協力いただきましたブロック長の渡部 政司先生、エリアコーディネーターの芝原 修司先生、会場の手配・調整を引き受けてくださいました神奈川県立保健福祉大学の方々、当日の運営を手伝っていただいたスタッフの皆さまも本当にありがとうございました。

今後も災害時のリハビリテーション支援ネットワークの基盤づくりとして各ブロック・地域ごとの行政機関や保健センターなどとの連携を深めていけるようにしていきたいと考えています。平成29年度も災害対策研修会や災害対策キャラバンを開催する予定です。より多くの方々のご参加をお願い致します。

《横浜北部ブロック》

講師に横浜市より吉元 景氏(横浜市医療局医療政策課救急・災害医療担当係長)、御小柴 朋子氏(鶴見区役所福祉保健課健康づくり係 健康づくり係長)、玉井 洋平氏(横浜新緑総合病院 リハビリテーション部)を迎え、横浜北部における災害時の危機管理体制や医療支援体制など災害時を想定した平時からの取り組みや連携についてお話しいただきました。

吉元氏からは、横浜市防災計画から災害時の医療体制や災害医薬品の備蓄方法について、横浜市医療救護隊と保健活動グループとの連携に関しても具体的にお話しいただきました。



御小柴氏からは、平時の地域保健活動や横浜市や各区の保健師の人員配置や組織体制について、横浜市の災害時保健活動についてお話しいただきました。また熊本地震における避難所での健康支援や在宅支援活動の報告や今後の動向としてキーワードとなる保健師を中心とした公衆衛生支援チーム「災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT: Disaster Health Emergency Assistance Team)」についてもご紹介いただきました。そして玉井氏より、市民として、理学療法士として災害があつたらどうするか?をテーマに自身の災害支援経験から専門職として考えておくべき事、長期的な支援の重要性についてもお話しいただきました。

30名を超える多くの方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。横浜北部ブロックエリアコーディネーターの吉田 公一先生、会場の手配・調整を引き受けてくださいました済生会横浜市東部病院の方々、当日の運営を手伝っていただいたスタッフの皆さまも本当にありがとうございました。

今後も災害時のリハビリテーション支援ネットワークの基盤づくりとして各ブロック・地域ごとの行政機関や保健センターなどとの連携を深めていけるようにしていきたいと考えています。平成29年度も災害対策研修会や災害対策キャラバンを開催する予定です。より多くの方々のご参加をお願い致します。



ホスピレート(Hospirate)とは？ ～「すべての医療者が働きやすい病院」をめざして～

湘南鎌倉総合病院 根本 敬氏

会員ライフサポート部
活動報告
職場環境を考える

第59報

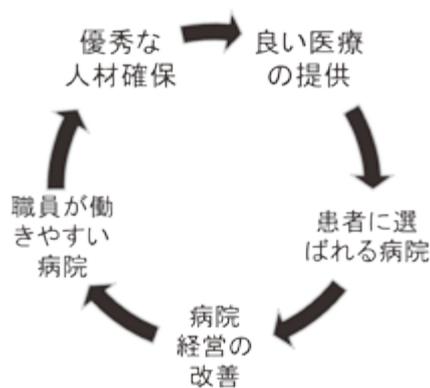
今年度の研修会&交流会は、9月4日にウィリング横浜で、今さら聞けないシリーズ「今どきの働き方はいろいろ!?」として開催しました。今回は研修会の第1部で講演していただいた根本先生に、「職員が働きやすい病院機能評価」であるホスピレート認証について紹介していただきました。この取り組みによって、離職率を半減できたという実績もある取り組みや、そのもととなる考え方は他の施設でも大いに参考になると感じています。また、第2部や交流会で、「今どきの働き方」というテーマで管理的な立場で働いた経験のある人の意見や、それぞれの立場の悩みが出され、参考になる意見をたくさん聞けました。その内容を、前年度に実施した「産休・育休に伴う人員確保に関する調査」の報告書の中に一部ではありますが「現場の工夫」という章で掲載することができました。施設毎に配布しましたので、この報告書も合わせてみて頂けたらと思っています。

「私たち医療者にとって、“働きやすい職場”とはどのようなものなのでしょうか？」

これには、答える人の数ほどの多様性が存在するはずです。

現代医療者にとっての働きやすい職場環境を考える際に、ダイバーシティ（多様性の受け入れ）の概念は欠かせません。子育てや家族の介護、自身の心身不良、望んでも社会制度享受の対象と成りえない立場の職員など、多彩な場面・分野で施設側からの支援体制が必要です。職員の就業環境を整備し満足度を向上させることが良質なサービスの生産へとつながり、ひいては患者満足度も向上させます。患者満足度の向上は施設の経営成果を向上させ、更なる就業環境充実に向けた投資となっていきます。

働きやすい職場創りに至るサイクルモデル



この有機的サイクルの端緒となる“職員満足度の向上”を“働きやすい職場”と位置付け、その視点から「すべての医療者が働きやすい病院」としての基本方針策定と体制づくりを推奨するの

が「ホスピレート」の考え方です。

ホスピレートは「国民の豊かな医療実現に寄与することを目標とし、すべての医療者が安心して働くことができる、病院の働きやすさを第三者（NPO法人イー・ジェイネット）から評価・認証する」ものです。

評価は書類審査と訪問審査（ヒアリング）を実施し、働きやすさにつながる姿勢や仕組み及び制度運用などを具体的に審査する。10の大項目からの評価視点をもとに、評価委員会（医科大学名誉教授、医療経営専門家、公認会計士、弁護士、ジャーナリストなどで構成）にて審査が行われ、70点以上（100点満点）で認証が付与。

ホスピレートの評価項目		医療者として働く職員にとって仕事と家庭との両立、いわゆるワークライフ・バランスをいかに成立させるかは重要な課題です。しかし自己の限りあるキャパシティにワーク
トップのコミットメント	経営方針、組織 体制、仕組み作り、風土	
ハード面	人事、目標管理 就業規則、規定、制度	ワークライフ・バランスをいかに成立させるかは重要な課題です。しかし自己の限りあるキャパシティにワーク
	労働環境	
ソフト面	研修、教育 プログラム、窓口	ワークライフ・バランスをいかに成立させるかは重要な課題です。しかし自己の限りあるキャパシティにワーク
	福利厚生	
コミュニケーション	情報システム コミュニケーション	ワークライフ・バランスをいかに成立させるかは重要な課題です。しかし自己の限りあるキャパシティにワーク

（仕事）とライフ（家庭）の比重を配分して詰め込むことは大変なことです。これをなんとか両立させていても、スケジュールをいっぱい使った余裕の無い生活はいつかワークホリック（義務的・焦燥的・強迫的）な感覚におそわれ、バーンアウト（燃え尽き）へ到達することでしょう。それではこれまでのワークとライフの調整も徒労に終わってしまいます。

そこで、近年は「ワークライフ・シナジー」という言葉に注目が集まりました。これは「ワークとライフがお互いに良い影響を及ぼし合いながらシナジー（相乗効果）を生み出すこと」であり、ワークライフ・バランスの真の意味ともされています。“シナジー”にはキャパシティの絶対枠を超越する、豊かなワークライフをもたらす効果が期待されています。

こうした考え方を生かすためにも、医療サービスの提供体制としての健全な環境創りが必要です。多彩な就労背景を持つ人材の活用により、多彩な付加価値を創出する医療業界への転換が、今こそ求められているのです。

医療者自らが健全なくして、患者を健全に導くことはできません。

職場による職員支援の重要性の認識、および施策に対しての具体性と実行力を合わせ持つ指針として、「ホスピレート」の考えが皆さんの身近に置かれることを祈念しつつ、「働きやすい職場」を巡る議論がより一層活性化することを期待したいと思います。

活動報告

平成29年度復職支援実務研修のお知らせ

- 【目的】もう一度働きたいけど臨床から離れた不安から躊躇されている方に、現場での見学や研修を通して自信をつけてもらうことを目的とした研修です。
- 【対象者】離職中の神奈川県理学療法士会会員（離職の理由は不問、復職先が決まっている方は対象外）
- 【研修先】希望の地域、職域（回復期、訪問リハなど）を元に相談させていただきます
 ＊研修先として確約いただいている施設はホームページに掲載しています
 掲載されている施設以外も交渉していく予定ですので、お気軽にご相談ください
- 【期 日】5時間×1～5日間分（連続5日間でなくてもOK。期日や研修の方法は相談して決めます）
- 【参加費】1日につき1,000円
- 【申込締め切り】平成30年2月28日
- 【問い合わせ先】下記までメールでお願いします。詳しくは県士会ホームページをご覧ください
 lifesupport@pt-kanagawa.or.jp（ライフサポート部 寺尾）

総 会 告 示

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 第38回定時総会

日 時：平成29年**6月18日**（日） 9時30分～11時00分（9時より受付開始）

会 場：横浜リハビリテーション専門学校 8階講堂

横浜市戸塚区品濃町550-1（JR横須賀線 東戸塚駅下車 下記地図を参照）

- 1) 総会に出席できない場合は、必ず委任状か議決権行使書を提出して下さい。
- 2) 総会資料・会員証は、必ずお持ちください。

総会時講演会

日 時：平成29年**6月18日**（日） 11時00分～12時30分

講 演：11時00分～12時00分

質疑応答：12時00分～12時30分

テ ー マ：『地域医療構想について』（予定）

講 師：神奈川県 保健福祉局 保険医療部 医療課（予定）

* 総会および総会時講演出席者には該当する下記のポイントが付与されます。

- 1) 専門理学療法士ならびに認定理学療法士資格取得および更新に関わる履修ポイントの“都道府県士会主催の講習会・研修会 10ポイント”すべての領域に該当します。
- 2) “地域包括ケアシステムに関する推進リーダー制度”の本会指定事業になります。
- 3) 新人教育プログラム C-7 士会活動・社会貢献に該当します。





第34回神奈川県理学療法士学会を終えて

第34回神奈川県理学療法士学会 準備委員 総務係長 千葉 公太

平成29年3月12日(日)に、パシフィコ横浜にて第34回神奈川県理学療法士学会が開催されました。学会当日は、学会長賞を決める口述発表5演題からはじまり、合計で119演題の発表が行われ、参加者数は647名を動員し、盛況を得るに至りました。学会運営にあたり、林会長、炭副会長、内田担当理事をはじめとした県士会理事の先生方、学術大会部の先生方、当日運営スタッフの先生方の多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、今回参加された県士会員の皆様、県民の皆様、他士会員の皆様にも重ねて御礼申し上げます。



月	日	内容	場所
12月	2日(金)	神奈川県公衆衛生協会表彰式	横浜情報文化センター
	7日(水)	第9回常任理事会	事務所
	9日(金)	第35回関プロ学会準備委員会	横浜リハビリテーション専門学校
	16日(金)	かながわ福祉サービス振興会、記念式典	ロイヤルホール横浜
	17日(土)	第6回(拡大)事業運営会議	事務所
	20日(火)	神奈川県理学療法士連盟総会	労働プラザ
	20日(火)	小川かつみ先生の活躍を応援する会	労働プラザ
	21日(水)	神奈川県医療専門職連合会、事業企画委員会	神奈川県臨床工学技士会事務所
	26日(月)	黒岩知事を励ます会	ロイヤルホール横浜
H29年 1月	5日(木)	地域組織対策本部会議	事務所
	11日(水)	第10回常任理事会	事務所
	17日(火)	第7回事業運営会議	事務所
	19日(木)	神奈川県三士会長会議	本会事務所
	20日(金)	第35回関プロ学会慰労会	横浜ベイシェラトンホテル
	25日(水)	神奈川県医療専門職連合会、理事会	神奈川県臨床工学技士会事務所
	26日(木)	神奈川県看護協会、賀詞交歓会	ロイヤルパークホテル
2月	1日(水)	第11回常任理事会	事務所
	2日(木)	表彰委員会	事務所
	4日(土)	第35回関プロ学会監査会	横浜リハビリテーション専門学校
	5日(日)	関東甲信越ブロック協議会、学会運営検討委員会	田町カンファレンスルーム
	13日(月)	横須賀ブロックヒヤリング	県立大学
	18日(土)	関東甲信越ブロック協議会、士会長会議	越後まる松、新潟
	21日(火)	第4回理事会	事務所
	23日(木)	神奈川県介護人材確保対策推進会議	(ロイヤルホール横浜)
	25日(土)	神奈川県3士会合同研修会	(横浜リハビリテーション専門学校)
	26日(日)	(公社)日本理学療法士協会、オリパラ対策本部会議	(田町カンファレンスルーム)
	27日(月)	川崎南部ブロックヒヤリング	(事務所)
28日(火)	横浜西部ブロックヒヤリング	(事務所)	



研修会・講習会

●県士会主催

平成29年度 運動器理学療法領域講習会のお知らせ

(公社) 神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ：股関節疾患の理学療法

～変形性股関節症の形態評価・運動療法と大腿骨頸部骨折の背景を理解する～

内容：①股関節の形態評価を股関節のレントゲン画像を根拠として分析できるように、そして臨床での姿勢・動作分析につなげられるように。
②人工股関節置換術の知識と近年の術後早期プログラムに理学療法士がどうかかわるか？
③脆弱性骨折の代表疾患である、大腿骨頸部骨折の背景にある骨粗鬆症の治療と転倒予防、ドミノ骨折の予防に関して理学療法士の知っておくべき知識とやるべきこと。

日時：同じテーマで日時・会場を変えて2回開催いたします。お申し込みの際は、ご注意ください。

1回目：平成29年5月28日(日) 13:40～16:40(受付開始:13:20)

2回目：平成29年10月1日(日) 開始・受付時間は調整中

会場：1回目：平塚商工会議所(最寄駅：JR「平塚」駅)

2回目：横浜リハビリテーション専門学校(最寄駅：JR「東戸塚」駅)

講師：永井 聡 先生(広瀬整形外科リウマチ科)

受講料：本会会員2,000円、他都道府県士会員5,000円

受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き落としとなります。

振込みの場合は手数料をご負担ください。

講習会当日の9日前がお支払いの期限です。入金確認ができましたら、受講登録が完了します。入金の確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、支払期日を超えた場合、受講費の返還はされませんのでご了承ください。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。

神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

申込受付期間：1回目：平成29年4月4日(火)14:00～平成29年5月14日(日)17:00
2回目：平成29年8月1日(火)14:00～平成29年9月17日(日)17:00

定員：各回200名(予定)(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)

対象：理学療法士

単位認定：履修ポイントについては現在、詳細を検討中なので、判明次第、本会ホームページにアップしていきます。最新情報は、本会ホームページで確認してください。

お問合せ先：(公社) 神奈川県理学療法士会 事務局

E-mail：office@pt-kanagawa.or.jp

お問い合わせはメールでお願いします。

平成29年度 基礎理学療法領域講習会のお知らせ

(公社) 神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ：姿勢・運動制御の基礎

内容：私達が姿勢を安定させたり意図した運動を遂行したりできる背景には、筋骨格系の構造や機能、神経系の機能、感覚機能、認知機能など、様々な基本的な能力が関わっています。今回の講習会では、ヒトの姿勢および運動制御を理解することをメインテーマとして、これらの基本的な機能が姿勢・運動制御にどのように関わっているかを運動学習や運動イメージなどの知見と合わせて改めて理解したいと思います。また、臨床現場において姿勢や歩行の安定性を得るために多く用いられている「杖」の使用について、その影響(利点・欠点)をご紹介したいと思います。

日時：同じテーマで日時・会場を変えて2回開催いたします。お申し込みの際は、ご注意ください。

1回目：平成29年6月10日(土) 10:00～13:00(受付開始:9:30)

2回目：平成29年11月11日(土) 開始・受付時間は調整中

会場：1回目：神奈川県立保健福祉大学 階段教室(最寄駅：京浜急行「県立大学」駅)

2回目：調整中

講師：渡邊 観世子 先生(国際医療福祉大学)

受講料：本会員2,000円、他都道府県士会員5,000円

受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き落としとなります。

振込みの場合は手数料をご負担ください。

講習会当日の9日前がお支払いの期限です。入金確認ができましたら、受講登録が完了します。入金の確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、支払期日を超えた場合、受講費の返還はされませんのでご了承ください。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。

神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

申込受付期間：1回目：平成29年4月10日(月)14:00～平成29年5月27日(土)17:00
2回目：平成29年9月11日(月)14:00～平成29年10月28日(土)17:00

定員：各回150名(予定)(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)

対象：理学療法士

単位認定：履修ポイントについては現在、詳細を検討中なので、判明次第、本会ホームページにアップしていきます。最新情報は、本会ホームページで確認してください。

お問合せ先：(公社) 神奈川県理学療法士会 事務局

E-mail：office@pt-kanagawa.or.jp

お問い合わせはメールでお願いします。



平成29年度 内部障害理学療法領域講習会のお知らせ

(公社) 神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ：心血管疾患のリハビリテーション
～基本的な知識の整理から最新のトピックスまで～

内容：本講習会では、普段、心臓リハに携わっていない療法士の方々も理解しやすいよう、重要な心臓の解剖や生理学の知識に言及するとともに、ベッドサイドでのアセスメントや運動療法、最近のトピックスについてもお話ししたい。

日時：同じテーマで日時・会場を変えて2回開催いたします。
お申し込みの際は、ご注意ください。
1回目：平成29年6月24日(土) 9:40～12:40(受付開始：9:20)
2回目：平成29年10月7日(土) 10:00～13:00(受付開始：9:30)

会場：1回目：ハウスクエア横浜(最寄駅：横浜市営地下鉄ブルーライン「中川」駅)
2回目：神奈川県立保健福祉大学 階段教室(最寄駅：京浜急行「県立大学」駅)

講師：神谷 健太郎 先生(北里大学 医療衛生学部)

受講料：本会会員2,000円、他都道府県士会会員5,000円
受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き落としとなります。振込みの場合は手数料をご負担ください。講習会当日の9日前がお支払いの期限です。入金確認ができましたら、受講登録が完了します。

入金の確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、支払期日を超えた場合、受講費の返還はされませんのでご了承ください。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。

神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

申込受付期間：1回目：平成29年4月24日(月)14:00～平成29年6月10日(土)17:00
2回目：平成29年8月7日(月)14:00～平成29年9月23日(土)17:00

定員：各回150名(予定)(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)

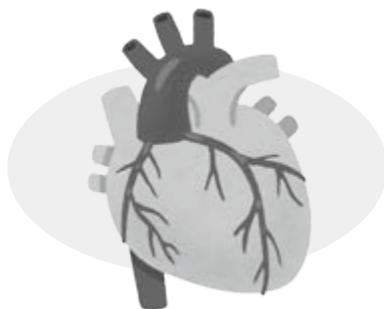
対象：理学療法士

単位認定：履修ポイントについては現在、詳細を検討中なので、判明次第、本会ホームページにアップしていきます。最新情報は、本会ホームページで確認してください。

お問合せ先：(公社) 神奈川県理学療法士会 事務局

E-mail：office@pt-kanagawa.or.jp

お問合わせはメールをお願いします。



研修会・講習会



●他団体

パシフィックサプライ株式会社 オンデマンド講座

内 容：第1回 力の合成と分解 (10月21日配信開始)
 第2回 生体におけるテコ (11月25日配信開始)
 第3回 重心の求め方 (12月2日配信開始)
 ※第4回以降の講義テーマは【予定】となります
 第4回 重心 (2017年1月配信予定)
 第5回 床反力 (2017年1月配信予定)
 第6回 関節モーメントと筋活動 (2017年2月配信予定)
 第7回 健常歩行のバイオメカニクス (2017年2月配信予定)

開催日時：インターネットによる通年での開催となります。
会 場：インターネット上での開催となります。
受講料：1講義 2,000円 (1講義 45分)
講 師：国際医療福祉大学大学院 山本澄子教授

6日で学ぶ評価・治療の為の触診セミナー～3か月で療法士としての土台を作ります～

テ ー マ：臨床に必要な知識を知り・理解し・できるようになる療活触診
 3か月で患者様に選ばれる療法士になる方法をお伝えします。
 触診部位の追加に加えて、評価の流れから、報告書の作成方法、症例検討も行います。

内 容：1か月目 体幹編 2日間
 ・階層的触診の方法
 ・脊柱・骨盤などの体幹を中心とした触診・関節モビライゼーション・筋膜リリース
 ・評価の流れ、報告書の書き方、症例検討
 2か月目 上下肢編1 2日間
 ・上下肢を中心とした触診・関節モビライゼーション・筋膜リリース
 ・症例検討
 3か月目 上下肢編2 2日間
 ・上下肢を中心とした触診・関節モビライゼーション・筋膜リリース
 ・症例検討、復習
 *詳しい内容はHPよりご確認ください。

開催日時：第3期
 1か月目：7月1、2日
 2か月目：8月5、6日
 3か月目：9月2、3日
 ※都合がつかない場合は4月以降の日程に振り替えることが可能です。
 ※参加できない回がある場合はその回の講義動画を配信致します。
会 場：ウィリング横浜 ゆめおおおかオフィスタワー
 〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内
受講料：1日のみ 12,000円
 6日間全てお申込みで 59,800円 (テキスト代含む)
 ※参加できない日程は4月以降に振り替えることが可能です。
 ※振替も困難な場合は講義の動画を配信致します。
講 師：大塚 久 理学療法士 山崎 瞬 理学療法士
定 員：24名限定 (講師が一人ひとり触診部位を確認し、修得することを第一とするため少人数にさせていただきます。)
注意事項：お申込みは セミナーHP よりお願いします。
<http://ts-seminar.jp/syokushinbasic/>
お問合せ先：療法士活性化委員会 事務局加藤まで
 E-mail: ts-info@ts-seminar.jp



information



日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様にお願いします。

紛失・破損等による再発行は、有料（500円税別）となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業

の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（「ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行って下さい。

【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了して下さい。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可して下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 相川 浩一

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定年会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

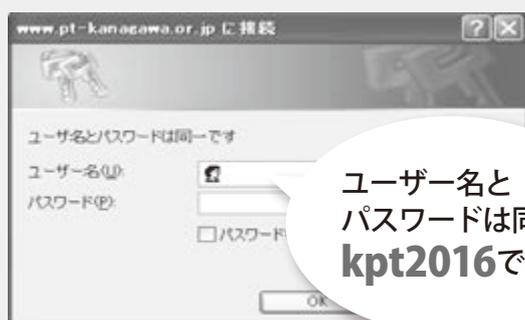
～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 相川 浩一

アクセス認証が必要です！



本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

編集後記

気温は暖かくなり桜が美しく花開く季節となりました。この時期に咲く桜は「ソメイヨシノ」と呼ばれ日本にある桜の8割を占めるそうです。また、桜の中には寒い時期に咲く「河津桜」という種もあり、約60年前に新種として見つかりました。異なる環境でも順応して美しい花を咲かせる河津桜には逞しさを感じます。

さて4月は私たち人間も環境が変わる季節です。新入職員の方は期待を抱き入職されたことでしょう。またお勤めしている職場の方々にはさらなる飛躍を思い新入職の方を迎え入れたことでしょう。人が入れ替わることも1つの環境変化だと思えます。様々な立場の方が様々な思いを抱き、共にスタートする4月は上手くいかないこともあるかもしれませんが、しかし共に理解し合いながら環境の変化に順応することで、きっと1人1人に素敵な花が咲くと私は思います。

「ソメイヨシノ」の開花期間は1週間ほどですが、異なる環境に順応した「河津桜」の開花期間はおよそ4週間とされています。もしかすると、4月は私たちにとって、自身を長く開花させる為に必要な季節なのかもしれません。

(鈴木)

次号の原稿締め切りは平成29年6月6日です。
 国際医療福祉大学小田原保健医療学部 (ニュース編集部宛)
news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp
 (原稿は添付ファイルでお願いいたします)

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくをお願いいたします。

◆ニュース編集部員◆

担当理事：坪内 敬典 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)
 部長：今井 祐子 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
 部員：金子 達也 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
 鈴木 啓介 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)



あなたの生活をサポートします



(有)木村義肢工作研究所

横浜市栄区安間三丁目40番5号 TEL045-892-5424 FAX045-894-2560
<http://www.kimura-gishi.co.jp/>



Gift

オリジナルカーシート
 (150センチ程度まで)

日本ウイール・チェア株式会社
 〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
 TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

そのほか当社では
 福祉用具レンタル・販売
 も取り扱っています



NIHON WHEELCHAIRS

<http://nwc-kurumaisu.com/>